

5 地域重点政策ユニット

地域重点政策ユニットは、主な施策の展開方向に基づいて、重点的に取り組むプロジェクトです。

地域重点政策ユニットのプロジェクト名称	推進エリア
1 農林水産業をはじめとした地域を支える産業の振興プロジェクト	釧路・根室連携地域
2 地域の強みを活かした交流・関係人口の創出・拡大プロジェクト	釧路・根室連携地域
3 「ゼロカーボン北海道」への貢献プロジェクト	釧路・根室連携地域
4 安全・安心で心豊かに暮らせる地域づくりプロジェクト	釧路・根室連携地域
5 北方領土の早期返還と隣接地域の振興プロジェクト	釧路・根室連携地域

農林水産業をはじめとした地域を支える産業の振興プロジェクト

【推進エリア】 釧路・根室連携地域

【主な実施主体】 国、道、市町村、民間、関係団体、試験研究機関、金融機関

目 的

安全・安心で良質な農林水産物の安定供給に向けた農林水産業の持続的成長と良質な農林水産資源などを活かした地域産業の振興を図り、人の呼び込みや定着を促すため、生産力の強化や担い手の育成・確保、高付加価値化や販路拡大、創業促進などの取組を進めます。

施策展開

- 【施策】 ■ 農林水産業の生産力強化
- 地場産品の高付加価値化や国内外への販路拡大の推進
- 地域の産業を支える企業の振興や担い手対策の推進

〈プロジェクトの重要業績評価指標（KPI）〉

○農業産出額	2,037.0億円 (R1)	→	2,104.9億円 (R6)
釧路	888.3億円 (R1)	→	917.9億円 (R6)
根室	1,148.7億円 (R1)	→	1,187.0億円 (R6)
○林業素材生産量	259千m ³ (R1)	→	312千m ³ (R7)
釧路	188千m ³ (R1)	→	232千m ³ (R7)
根室	71千m ³ (R1)	→	80千m ³ (R7)
○漁業生産額	620.7億円 (R1)	→	769.7億円 (R7)
釧路	219.5億円 (R1)	→	272.2億円 (R7)
根室	401.2億円 (R1)	→	497.5億円 (R7)
○どさんこプラザの商品定番化	7件 (R1)	→	35件 (R3～R7 累計)
釧路	4件 (R1)	→	20件 (R3～R7 累計)
根室	3件 (R1)	→	15件 (R3～R7 累計)
○道エゾシカ肉処理施設認証制度の認証施設数	2件 (R2)	→	4件 (R7)
釧路	1件 (R2)	→	2件 (R7)
根室	1件 (R2)	→	2件 (R7)
○新規就農者数	31人/年 (R2)	→	80人/年 (R6)
○新規林業就業者数	12人/年 (H23～R1 平均)	→	17人/年 (R7)
釧路	7人/年 (H23～R1 平均)	→	10人/年 (R7)
根室	5人/年 (H23～R1 平均)	→	7人/年 (R7)
○新規漁業就業者数	22人 (R1)	→	105人 (R3～R7 累計)
釧路	14人 (R1)	→	60人 (R3～R7 累計)
根室	8人 (R1)	→	45人 (R3～R7 累計)

<施策毎の主な取組方向>

■ 農林水産業の生産力強化

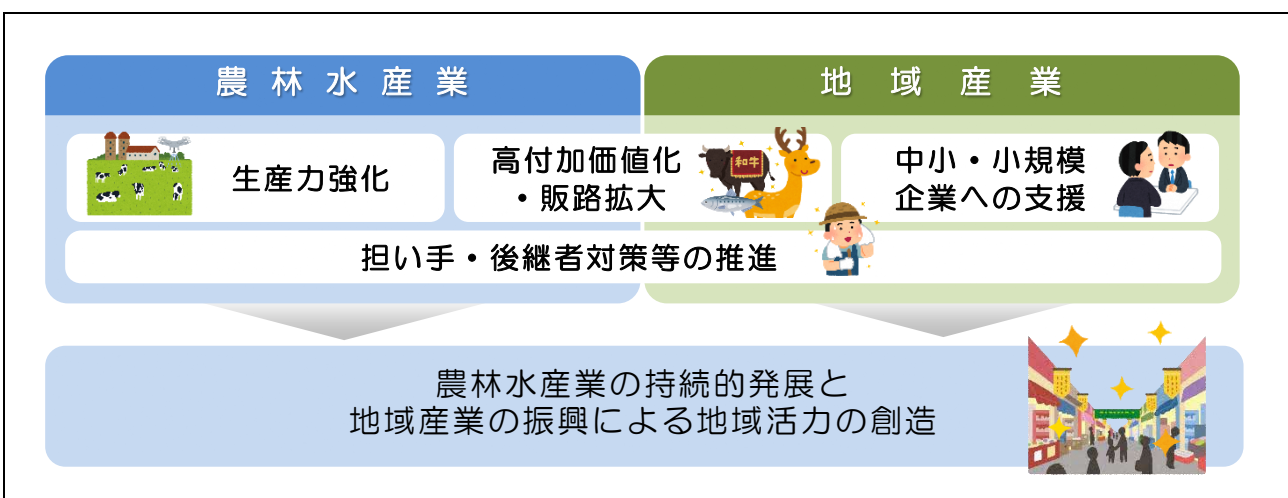
- 草地の適正管理や草地整備改良事業の計画的な実施など草地型酪農の推進
- 営農支援組織の育成・強化やスマート農業技術の導入、和牛の生産拡大など安定した農業経営の確立
- 公共建築物をはじめ各種建築物などにおける道産木材の需要拡大
- 産地市場の衛生管理の強化と衛生管理に配慮した施設整備等の推進
- 海洋環境や資源状態などに応じたつくり育てる漁業の展開
- TAC制度の効果的運用と漁業特性にあった資源管理技術の導入
- ICTを活用した漁場管理や生産技術の開発
- エゾシカの適正管理及び農林業等被害の軽減に向けた取組の推進
- ヒグマによる森林施業等での人身被害の防止や農業・漁業被害の軽減に向けた取組等の推進

■ 地場産品の高付加価値化や国内外への販路拡大の推進

- 良質な地域資源である1次産品を活かした商品の開発や6次産業化の推進
- 食関連事業者の課題に対応した支援や新たなプロモーションの展開など食のブランド化の推進
- 農林業被害等の軽減のために捕獲したエゾシカの食肉としての有効活用と高付加価値化に向けた取組の促進

■ 地域の産業を支える企業の振興や担い手対策の推進

- 北海道小規模企業振興条例をはじめ産業振興に関する各種条例に基づく創業の促進など中小・小規模企業の振興及び地元商店街のにぎわい形成に向けた取組の推進
- 市町村や関係団体と連携した農林水産業の担い手の育成・確保
- 農村コミュニティの維持に向けた農業経営体の円滑な継承に関する取組の推進
- 若年者の地元中小企業への就職や職場定着に向けた支援の推進



関連する主な基盤整備

- 農産物の安定生産の基盤となる草地や畑地、農業用施設や農道の整備推進
- 農林水産業の経営体の育成や体質強化を図るための施設の整備
- 水産資源増大等に向けた増養殖施設の整備
- 水産物の品質管理を高度化する施設の整備
- 水産物供給基地としての漁港、漁場の整備促進
- 国際的な海上輸送拠点の整備
- 地方空港の機能向上に向けた施設の整備
- 物流ネットワーク形成のための高規格道路や道路網の整備

地域の強みを活かした交流・関係人口の創出・拡大プロジェクト

【推進エリア】釧路・根室連携地域

【主な実施主体】国、道、市町村、民間、関係団体

目 的

知床世界自然遺産や国立・国定公園、アイヌ文化などの地域の強みを活かした体験型・滞在型観光や広域観光の推進、若年層を中心とした地方移住への関心の高まりを踏まえた地域の魅力や優位性の発信、また、新しい働き方として注目されているワーケーションの推進などにより、地域内外からの人の流れをつくるとともに、地域の魅力を高め連携を図りながら、交流人口や関係人口の創出と拡大を図ることで地域の活力を生み出します。

施策展開

- 【施策】 ■ 地域の強みを活かした体験型・滞在型観光や広域観光の推進
■ 地域一体となった移住・定住やワーケーションの推進

〈プロジェクトの重要業績評価指標（KPI）〉

○観光入込客数	1,011.2万人 (R1)	→	1,120.3万人 (R7)
釧路	816.5万人 (R1)	→	904.6万人 (R7)
根室	194.7万人 (R1)	→	215.7万人 (R7)
○観光入込客宿泊客延数	202.9万人 (R1)	→	247.8万人 (R7)
釧路	177.5万人 (R1)	→	216.8万人 (R7)
根室	25.4万人 (R1)	→	31.0万人 (R7)
○体験移住「ちょっと暮らし」の滞在日数	30,383日 (R1)	→	33,927日 (R7)
釧路	28,752日 (R1)	→	32,108日 (R7)
根室	1,631日 (R1)	→	1,819日 (R7)
○各市町村の取組によるワーケーション受入数	297人 (R2)	→	前年度実績以上 (R7)
釧路	265人 (R2)	→	前年度実績以上 (R7)
根室	32人 (R2)	→	前年度実績以上 (R7)

〈施策毎の主な取組方向〉

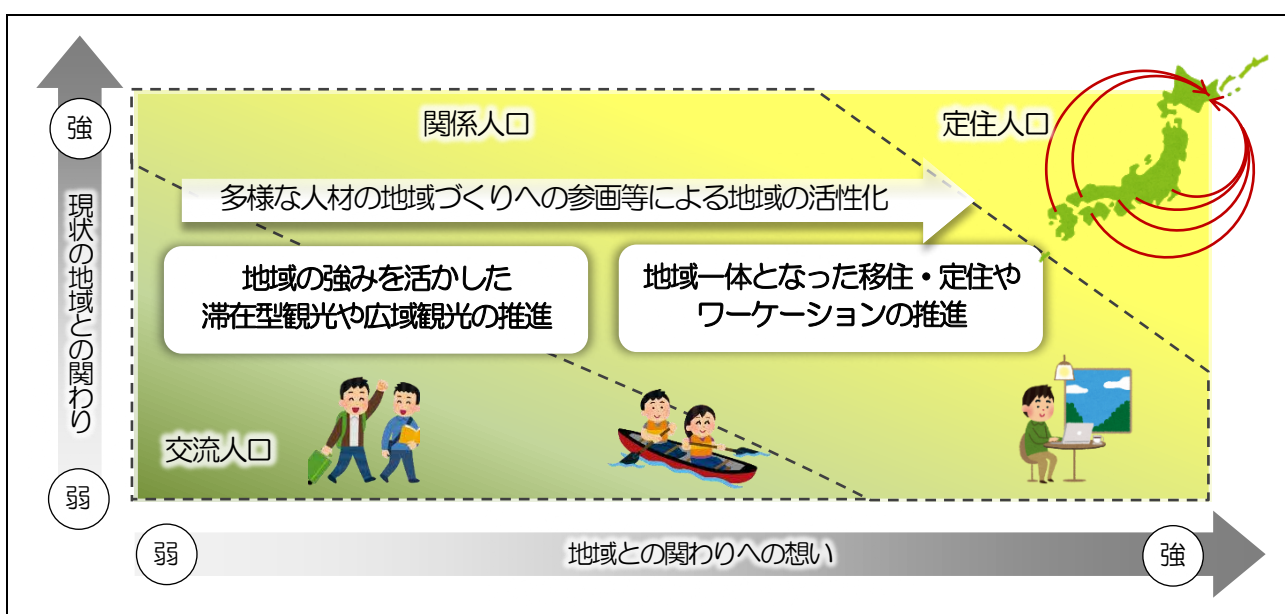
■ 地域の強みを活かした体験型・滞在型観光や広域観光の推進

- 新たな体験型観光の発掘に向けた検討や地域資源を活かした滞在型観光地づくり
- バードウォッチングやトレッキング等の地域の特色を活かしたエコツーリズムの推進
- 自然公園の魅力発信の多言語化やネイチャーガイドの養成など国内外観光客の受入体制の充実
- ATWSを契機とした国内外からの誘客促進
- 広域周遊観光促進事業やシーニックバイウェイと連携した広域観光周遊ルートの形成など「ひがし北海道」としての一体的な観光の推進
- 日本遺産の普及・活用を通じた広域観光の推進

- 北海道横断自動車道（道東道）の延伸を契機とした官民連携による地域の魅力発信
- 道外自治体と連携した観光情報等の発信
- 観光振興など市町村が連携して取り組む「地域づくり広域プロジェクト」の推進
- アイヌの歴史、伝統文化等の継承・情報発信

■ 地域一体となった移住・定住やワーケーションの推進

- 移住・定住対策に関する関係機関での情報・課題の共有と連携による受入体制づくり
- 移住希望者や地域に興味がある方とのつながりの構築と関係情報の発信
- ちょっと暮らしやワーケーションなど移住や関係人口の取組の推進
- 移住者など地域で活躍する人を結びつけるプラットフォームづくり
- 若年層の地元定着に向けたふるさとの誇りと愛着を育む取組の推進



関連する主な基盤整備

- 地域の資源を活かした多彩なツーリズムを促進する施設の整備
 - ・農村ツーリズムなどに資する農山漁村と都市との交流を促進する施設の整備
 - ・フットパスやサイクリングに資する施設の整備
- 安心して快適な旅ができる交通ネットワークの整備
 - ・空港・港湾の整備促進
 - ・観光拠点へのアクセス道路や休憩施設の整備
 - ・外国語標記の案内板などの整備
- 自然体験型観光のための施設の整備
 - ・野外活動体験施設の整備促進
 - ・海洋レクリエーション施設の整備
- 高規格道路の整備
- 冬期における安全で快適な道路交通の確保